

目次

巻頭言

未来を拓く一人一人の「探究」を読み解く

日本生活科・総合的学習教育学会 会長

安田女子大学教育学部 教授

広島大学 客員教授

朝倉 淳……………2

スタートカリキュラムの意味を重視した

第一学年生活科「アサガオを育てよう」

石川県七尾市立天神山小学校 教諭

(前) 中能登町立鹿西小学校・金沢大学教職大学院

近江 芳子……………8

解説

子どもに『意味としての学校』の自覚を促す
—スタートカリキュラムとしての意味—

日本生活科・総合的学習教育学会 顧問

南砺市 教育長・富山大学 名誉教授

松本 謙一……………22

「あさがおさん、はじめまして。よろしくね。」

〜入門期における生活科栽培単元の実践〜

大阪府大阪市立吉野小学校 教諭

(前) 大阪市立新高小学校

松井 香奈……………24

解説

幼児期の育ちを生かして

「環境」を通して学ぶ生活科の授業実践

武庫川女子大学 准教授

藤本 勇二……………38

内面的な成長を自覚し、自信や意欲をもつ子ども
の育成 〳内容(9)「おもいですごろくをつ
くろう」(小学校一年生)の実践を通して

新潟県新潟市立新潟小学校 教諭

(前) 新潟大学附属新潟小学校

三星 雄大……………40

解説

内面的な成長へと気付きの質を高める

学習指導への挑戦

新潟県生活科・総合的学習研究会 副会長

新潟市立沼垂幼稚園 園長

青木 博子……………54

自己評価で学びを深める総合的な学習の時間
— つなぐ・高める支援の在り方 —

広島県広島市立落合小学校 教諭
(前) 広島市立早稲田小学校
岡本 詠美子……………56

解説

教師自身による総合的な学習の時間の

実践研究の意義

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事
広島大学 准教授
渡邊 巧……………70

子どもたちが「自ら切り拓いていく学び」
〜子どもの思いに寄り添った単元の展開〜

広島県広島市立福島第三小学校 教諭
小池 聡 子……………72

解説

子どもへのリスケットに基づく、

思いに寄り添う単元デザイン

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事
福島大学人間発達文化学類附属学校臨床支援センター 教授
宗形 潤 子……………86

探究的な見方・考え方を活用・発揮して

学びを深める総合的な学習の時間
〜六年生「プロジェクト旧」の実践〜

兵庫県西宮市立北六甲台小学校 教諭
箱根 正 斉……………88

解説

探究的な見方・考え方を発揮して「より

よい問題解決者」を育成する総合的な学習の時間
武庫川女子大学 准教授
藤本 勇 二……………102

「子供」と「大人」が一体となった探究による震
災からの『心の復興』〜全校縦割による地域課題
探究活動を推進する『学校組織マネジメント』〜

広島県二本松市立杉田小学校 教諭
(前) 広島県二本松市立旭小学校
岩本 宏 幸……………104

解説

地域・子ども・学校を統一的に育むカリキュラム

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事
早稲田大学 教授
藤井 千 春……………118

「将来展望」と「社会参画」をつなぐ

総合的な学習の時間の構想

―「君たちは宮崎のためにどう生きるか」

で貫いた3年間の学びの成果を問う―

宮崎大学教育学部附属中学校 教諭

鬼塚 拓……………120

解説

学校全体で取り組む中学校の

総合的な学習の時間の改善・充実

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事

大分県教育庁 教育次長

米持 武彦……………134

教師と生徒の学びの変容を導いた

中学校の総合的な学習の時間

―鏡野中学校での実践から―

高知県香美市立山田小学校 主幹教諭

(前) 鏡野中学校 主幹教諭

橋詰 和世……………136

解説

教師と生徒の学びの変容を導いた中学校の総合的な学習の時間―鏡野中学校での実践から―

日本生活科・総合的学習教育学会 高知県地域世話人

高知県土佐市立波介小学校 校長

尾中 映里……………150

「学び型・形・方」による

新たな高校づくりの軸としての探究

北海道富川高等学校 校長

藤島 尚子……………152

解説

探究を軸とした新設校における

総合的な探究の時間のカリキュラム開発

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事

山梨県総合教育センター 主幹・指導主事

廣瀬 志保……………166

発刊のねらい……………168

応募・執筆要領……………169

編集後記……………170

執筆者分布図……………171